

ため池保全推進事業

ため池の底力 みんなで再発見！

～ 地域ぐるみの保全に向けて～



平成 21 年 3 月



『ため池保全のとりくみ』



日本におけるため池の歴史は古く、西暦 700 年頃（古墳時代）までさかのぼります。愛知県のため池は、尾張東部や西三河の丘陵地域、知多・渥美半島などに多く分布しています。これらの地域では、大きな河川から安定してかんがい用水を得ることができず、堤防の材料に適した粘土を探し当て、それを突き固めて水をせき止め、田や畑を潤す水を確保していました。ため池は自然の湖や沼とは違って、先人の知恵と努力によって造られた施設なのです。

ため池の水位は、農業に利用されることにより変動します。また、周辺の環境も、草刈り、水抜き、泥さらい、漏水補修等の管理作業によって影響を受けます。こうした人為的攪乱により、ため池の生物多様性が保たれてきたと言われていています。中でも、農閑期に行われている「池干し」は、いつもは水に浸かっている堤防や取水施設の保守点検を目的とした伝統的な管理作業のひとつで、ため池の水質は、池干しによって維持されてきたとも言われています。かつて、池干しは、貴重なタンパク源として池に棲む魚を捕ったり、池底に溜まった泥を肥料として利用するなど、地域住民の楽しみな行事のひとつでした。

この「池干し」に着目し、多面的機能を持つため池を地域の貴重な財産として保全していく機運を高めるため、県は、平成 20 年度に「ため池保全推進事業」を実施しました。池干しによる富栄養化抑制のメカニズムの検証や、ため池の生物多様性を指標化するための生物調査などと併せて開催した池干しイベントでは、日頃、ため池の管理をしている土地改良区のみなさんをはじめ、地域住民の方々、ため池に関わる多くの方々のご協力により、回を重ねるごとに参加者も増え、ため池の底力を体感する良い機会となりました。

今後とも、県は地域ニーズに合わせたため池の整備や保全の必要性を啓発していくため、こうした取組みを継続し、平成 22 年に開催される「生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）」の開催に向け、ため池を含めた里山・里地の水田生態系ネットワークの保全向上を図ってまいります。

平成 21 年 3 月

愛知県農林水産部農林基盤担当局
松下 栄夫

も く じ

はじめに

(1)ため池保全の推進について	1
(2)ため池保全推進事業の目的	2
(3)ため池保全推進事業の概要	2

池干しイベントの概要	3
------------	---

池干しイベント実施計画

(1)神戸大池実施計画	5
(2)神池実施計画	11
(3)長田池実施計画	19

ため池に関する住民意識調査・研究	27
------------------	----

水質調査・研究 ため池の水収支調査	35
-------------------	----

水質調査・研究 ため池の水質改善等に効果的な管理手法	38
----------------------------	----

生物調査・研究 トンボによるため池の生物多様性調査	41
---------------------------	----

参考資料 「ため池保全啓発パネル」	44
-------------------	----

はじめに

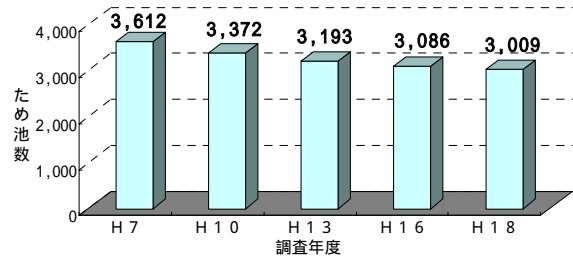
(1)ため池保全の推進について

ため池は農業用水を供給するために造られましたが、水のオアシスとして多様な生物の棲処・地域住民の憩いの場・洪水の緩和など、様々な恵みを地域に提供しています。しかし、これまで農家を中心となって管理されてきたため池は、周辺の都市化や農家の高齢化などにより、この11年間で3,612か所から3,009か所へと約600か所も減少してしまいました。

そこで、愛知県は多面的機能を持つため池を、地域の貴重な財産として地域ぐるみで保全するため、平成19年4月に「愛知県ため池保全構想～未来に伝えよう地域のたから～」を公表しました。この構想では、市町村が、関係行政機関・管理者・地域住民等と連携を図る「ため池保全連絡会議」を設置し、地域特性やニーズを把握し、ため池の多面的機能を維持・増進させる「ため池保全計画」を策定することを提案しています。

平成19年6月には、この構想を普及・啓発し、庁内の横断的な連携を図ることを目的として、ため池の多面的機能の維持・増進に係る本庁課室で構成する「愛知県ため池保全研究会」を発足しました。また、ため池のある県内36市町の土地改良担当課を対象に、平成19年7月に「地域説明会」を県内7会場で実施し、構想の趣旨説明、意見交換を行い、ため池保全連絡会議の設置を呼びかけました。関係市町村では、平成21年3月を目途に、ため池保全計画の策定が進められています。

本県のため池水の推移（か所）



愛知県ため池保全研究会構成課室

地域振興部	土地水資源課	計画・利用規制グループ
防 災 局	災害対策課	災害対策第一グループ
	消防保安課	消防グループ
環 境 部	水地盤環境課	調査・計画グループ
	自然環境課	野生動物グループ
建 設 部	公園緑地課	企画・景観グループ
	河 川 課	計画グループ
教育委員会	義務教育課	教科指導・同和教育グループ
農林水産部	農林政策課	企画グループ
	農林基盤担当局	農地整備課 防災グループ
		農地計画課 計画グループ
		排水対策グループ

ため池保全計画では、ため池本来の機能である「農業用水」以外に、「自然環境」「憩いの場」「学習の場」「洪水調節」「緊急水源」「歴史文化財」といった多面的機能の現況を評価したうえで、今後、どのような機能を維持・増進していくべきかを検討し、目標達成のために必要な基本方針を定め、5年間を目途とした具体的な整備計画、ソフト対策、活用方法等を記載し、ため池の保全を推進することとしています。

また、ため池保全の具体的な取組を実践するため、愛知県農業総合試験場の協力により、平成20年度に「ため池保全推進事業」により、ため池の多面的機能とため池保全の啓発を目的とした池干しイベントの開催、ため池に関する住民意識調査・研究、池干しの水質改善のメカニズムを調査・研究するための水質調査・研究（水・物質収支調査・研究）、トンボを指標種とした環境評価手法を検証する生物調査・研究などを実施しました。

(2)ため池保全推進事業の目的

ため池の多面的機能に対する価値観は、見方や利用の仕方によってさまざまです。例えば、自然環境保全の観点から、岸辺を自然状態で保全したい親水公園などでは、憩いの場として活用したいが、安全対策が問題となったり、本来ため池に棲息していなかったブラックバスやホテイアオイ・蓮は、生物の多様性に悪影響を及ぼすものですが、釣り人や花が咲く美しい景観を求める人々には歓迎されるといったことが挙げられます。

このため、「愛知県ため池保全構想」に基づき、ため池に関係する人々が連携し、ため池を保全していくには、相互の理解、多面的機能に対する共通理解が必要となります。

そこで本事業は、都市化の進展や農家の高齢化によるため池管理の粗放化により廃れてしまいつつある伝統的な管理作業である「池干し」に着目し、地域住民参加型のイベントを開催し、関係行政機関・ため池管理者・地域住民・専門家等の連携によるため池管理作業の実践を通して、多面的機能に対する理解促進や、関係者間の相互理解、地域が一体となったため池保全への気運を高めることを目的としました。

(3)ため池保全推進事業の概要

池干しイベントの開催

改修工事に先だって池干しを実施する3か所ため池を対象に、地域住民や小学校児童の参加により、魚つかみ、池に棲息する生物の観察、外来種の駆除、多面的機能の啓発などを実施。

ため池に関する住民意識調査・研究

池干しイベントの参加者を対象に、身近にあるため池に対する地域住民の意識調査をアンケート形式により調査・研究。

水質調査・研究（水・物質収支調査・研究）

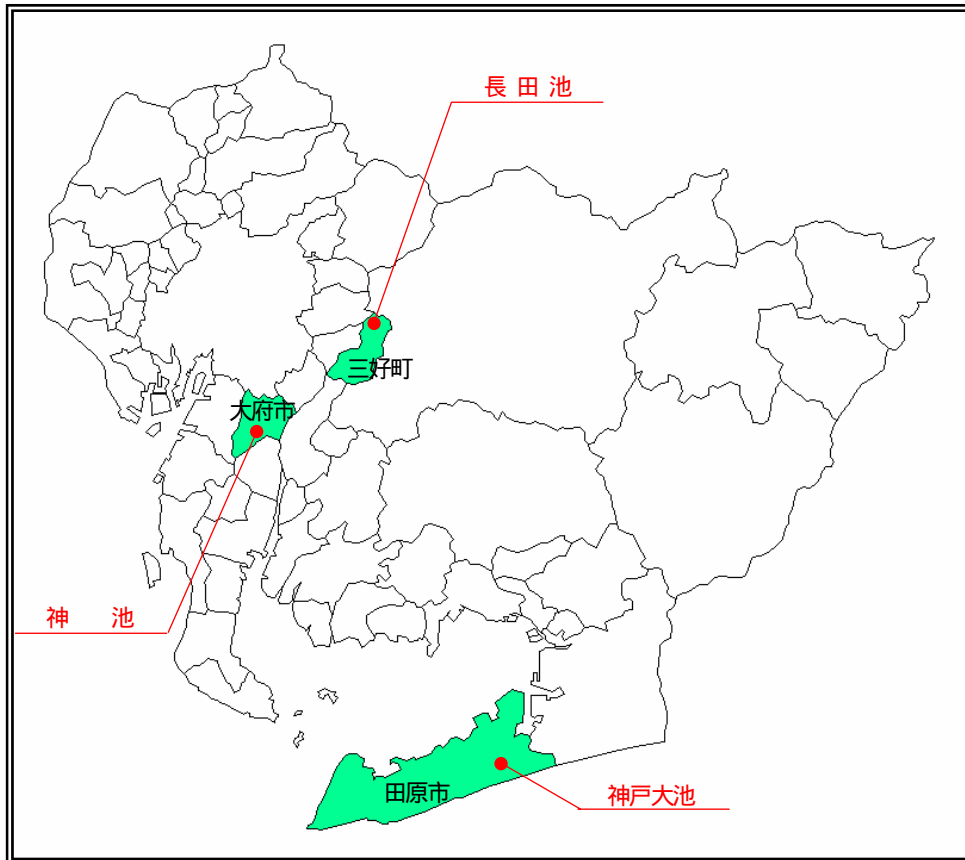
ため池の富栄養化の抑制に効果があると言われている池干しによる水質水質改善のメカニズムを検証するため、年間を通じてため池水質、水・物質収支を調査・研究。

生物調査・研究

ため池の持つ多面的機能のうち、周辺環境の評価を簡易に行うことのできる指標種として期待されるトンボを対象とした生物調査・研究。

池 干 し イ ベ ン ト の 概 要

実 施 箇 所 所 位 置 図



神 戸 大 池

開催日時：平成 20 年 9 月 30 日(火)午後 13:30 ~ 15:30

所在地：田原市神戸町大池 1 3 - 1

受益面積：2.6ha 貯水量：2.7千m³

小学校 4 年生児童と保護者を対象とした環境学習「農業と水」
 啓発パネルによるため池保全の啓発
 池に棲息する生物の観察会（地引網による捕獲作業の実演）

動員実績(人)

参 加 者	地 域 住 民	田原市立神戸小学校 4 年生児童	70	
		同上保護者	6	
		同上教員	4	
	管 理 者	田原市土地改良区	4	
		同上役員・受益者	8	
		神戸の自然を守る会	8	農地・水・環境保全向上対策
	そ の 他	寿工業株式会社	4	改良区発注工事請負業者
	行 政 機 関	田原市	3	
	計		107	
	視 察 ・ 見 学	岡崎市	3	
愛知県農林水産部関係		6		

報道実績 ・ティーズ(ケーブルテレビ)「街角ネットたはら」(H20.10.2~16 毎日6回放送)
 ・中京テレビ「あいち県政ファイル」(H20.10.25 AM11:35~11:40)
 ・東愛知新聞(H20.10.1朝刊)
 ・読売新聞(H20.10.1朝刊)

神 池

開催日時：平成20年10月5日(日)午前10:00~12:00

所在地：大府市吉田町4-75

受益面積：5ha 貯水量：8.5千m³

工事実施期間中、ため池に棲息する魚類を小学校プールに移動・保護
外来種駆除

イベント参加者を対象とした地域住民の意識調査

動員実績(人)

参加者	地域住民	大府市立吉田小学校児童	48	
		同上保護者	40	
		同上教員	5	
		一般	27	
	管理者	半月吉川管理区役員	10	
		吉田区役員	2	
	その他	株式会社花井組	3	防災ダム工事業者
		株式会社中村建設工業	8	
	行政機関	大府市	4	
	計			147
視察・見学	愛知県環境部関係	2		
	愛知県農林水産部関係	3		

報道実績 ・中京テレビ「あいち県政ファイル」(H20.9.6・H20.10.25 AM11:35~11:40)

・中日新聞(H20.10.6朝刊)

長 田 池

開催日時：平成20年11月8日(土)午前10:00~12:00

所在地：西加茂郡三好町大字黒笹字子持松1123-10

受益面積：13.1ha 貯水量：12千m³

仮設プールでの魚掴み体験

外来種駆除

スケッチ大会

ため池の多面的機能に関するクイズラリー

動員実績(人)

参加者	地域住民	幼児(~6歳)	11	
		小学生	98	
		中学生	5	
		一般	98	
	専門家	大学教授等	2	
	管理者	三好町土地改良区	4	
		同上役員	1	
	その他	半澤建設株式会社	6	老朽ため池等整備工事請負業者
	行政機関	三好町	4	
	計			229
視察・見学	東浦町	2		
	愛知県農林水産部関係	1		

報道実績 ・テレビ愛知「NEWS FINE アイ」(H20.11.12 PM5:13~5:24)

・ひまわりネットワーク(ケーブルテレビ)「みよし散歩道」(H20.11.17~21 毎日放送)

・中日新聞(H20.11.9朝刊)

・「コミュニティみよしがおか」(地元情報誌)(H20.12.2)

池干しイベント実施計画

(1) 神戸大池実施計画

開催日時：9月30日(火)午後13:30~15:30 雨天

会場：田原市立神戸小学校・神戸市民館・神戸大池

日時	内容	担当機関【人数】	必要資材
事前準備	(1)田原市広報に開催告知記事を掲載(H20.9.1号)		
	(2)落水作業開始(9/5~) 斜樋最下口を開けて、そのまま放置する	田原市(土)	
	(3)関係者最終打合せ(9/25) イベント実施計画概要を説明、当日の作業分担、スケジュールなどを最終確認する	農地計画課 農総試 東三河農林 田原市 田原市(土) 地元役員 神戸の自然を守る会	
	(4)改良区発注工事請負業者への協力依頼(9/26)	田原市(土)	
	(5)当日の救急指定病院を確認する	田原市	
準備作業 9月30日	(1)落水作業(9:00~) 底樋を開けて、地引網作業が可能な水位とする	請負業者	
	(2)展示魚類の捕獲 地引網により、池に棲息する生物を捕獲する 市民館：水槽で展示 駐車場：タライで展示	農地計画課【2】 東三河農林【8】 農総試【4】 田原市(土)	胴長・水槽・タライ・エアポンプ・ポリタンク・たもアミ・コドラードネットなど 長机3脚 地引網
	(2)啓発パネルの設置 啓発パネルを市民館に展示する		啓発パネル
10:00	(3)環境学習準備 小学校視聴覚室にて環境学習の準備をする	農地計画課【1】 農総試【2】	机・スクリーン プロジェクター 給食で飲み残した牛乳 水道水 ペットボトル (以上学校側で準備) パソコン バックテスト
12:00			
その他	イベント実施状況の記録	農地計画課【1】	カメラ
	新聞・テレビなどマスコミ対応	農地計画課【1】	

イベントの準備

●9月30日
「ため池保全推進事業 愛知県事業」
「ため池の底力 みんなで再発見！」
神戸小学校の4年生児童が、農家の皆さんと一緒に、池干し作業を楽しみます。見学は自由ですので、ぜひご覧ください。

時間▼午後1時30分～3時30分
場所▼神戸大池 神戸町大池131

▼農政課
☎23局3518 FAX22局3817

▼愛知県農地計画課
☎052)954局6432
FAX052)954局6935

「広報たはら」に開催告知記事を掲載



地引網による生物の捕獲

使わなくなった地引網を地元漁協のご厚意により貸与



魚類の捕獲作業

水を落とすと魚は深みに集まります



駐車場で魚類の展示準備

役員さんの機転でパレットの上に展示



市民館の準備作業

パケットテストや啓発パネルを準備します



視聴覚室の準備作業

パケットテストや啓発パネルを準備します

手分けして、それぞれの得意分野で準備作業をします。地引網やフォークリフト、パレットなど役に立ちそうなものを持ち寄って準備します。

日 時	内 容	担当機関【人数】	必要資材
9月30日 13:30 14:10	神戸小学校2階視聴覚室 環境学習 「農業と水」 牛乳を少量混ぜた水道水と水道水のCOD値をパックテストにより実測、比較することにより、水質保全について学ぶ (1)説明 農業と水の関わりについて 水の大切さについて 水の汚れCODについて (2)実習 パックテストを用いた簡易水質検査 (3)まとめ COD測定結果の発表	講師：農総試【2】 補助：農総試【3】	机・スクリーン プロジェクター 給食で残った牛乳 水道水 ペットボトル (以上学校側で準備) パソコン パックテスト
14:10 14:20	神戸市民館へ移動	誘導：農総試【1】	右図ルート
14:20 14:25	神戸市民館 開会式 (1)農地計画課あいさつ (2)田原市(土)あいさつ	司会進行： 農地計画課【1】	拡声器 マイク スピーカー
14:25 14:50	環境学習 「ため池の保全」 (1)展示パネルの解説 (2)簡易水質検査 池から汲んできた水のCOD値をパックテストにより実測、先に測定した牛乳を少量混ぜた水道水の値と比較し、水質保全について学ぶ (3)魚類の観察 水質検査の結果が出るまでの間を利用し、水槽で展示した神戸大池に棲息する魚類の観察をする	解説：農総試【1】 水質検査指導： 農総試【1】 水質検査補助： 農総試【3】 観察指導： 農総試【1】	展示パネル 池の水 パックテスト 展示水槽 エアポンプ
14:50 15:00	釣りデッキ・駐車場へ移動	誘導： 農地計画課【1】	右図ルート
15:00 15:25	釣りデッキ・駐車場 魚類の観察 事前に捕獲し、タライに展示した魚類を自由に観察する 地引網による魚類の捕獲実演	観察指導： 農地計画課【1】 農総試【6】 地引網実演： 東三河農林【8】 農地計画課【2】	水槽・タライ・ エアポンプ バケツ 地引網
15:25 15:30	閉会式 (1)東三河農林あいさつ	司会進行： 農地計画課【1】	拡声器 マイク スピーカー